

35 がい数①

制限時間

30分

開始時間

■時■分

終了時間

■時■分

合格点

80点

0, 1, 2, 3, 4 を切りすて、5, 6, 7, 8, 9 を切り上げることを四捨五入(ししゃごにゆう)といいます。
四捨五入したおよその数をがい数(がいう)といいます。

十の位で四捨五入しましょう。(2点×10問=20点)

例	3125	3100	①	8739	②	5815
③	22548		④	71327	⑤	90203
例	14762	14800	⑥	72395	⑦	27851
⑧	50983		⑨	16978	⑩	62952

百の位で四捨五入しましょう。(2点×10問=20点)

例	5492	5000	①	2381	②	9178
③	73365		④	81259	⑤	16099
例	42641	43000	⑥	37815	⑦	54521
⑧	29703		⑨	89924	⑩	69542

「〇の位までのがい数にしましょう」という問題では、〇より1つ小さい位で四捨五入します。

四捨五入して、百の位までのがい数にしましょう。(2点×10問=20点)

例	7125	7100	①	4239	②	3915
③	52848		④	69827	⑤	70503
例	84762	84800	⑥	91395	⑦	53851
⑧	20983		⑨	76978	⑩	92952

四捨五入して、千の位までのがい数にしましょう。(2点×10問=20点)

例	6492	6000	①	4381	②	1178
③	29365		④	76259	⑤	91099
例	92641	93000	⑥	57815	⑦	14521
⑧	39703		⑨	69924	⑩	29542

次の問題に答えましょう。(4点×5問=20点)

下の表は、なおきさんが住んでいる市の人口を5年ごとに調べたものです。

①	四捨五入して、千の位までのがい数にしましょう。				
	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年
	94238	92681	89724	88475	86819

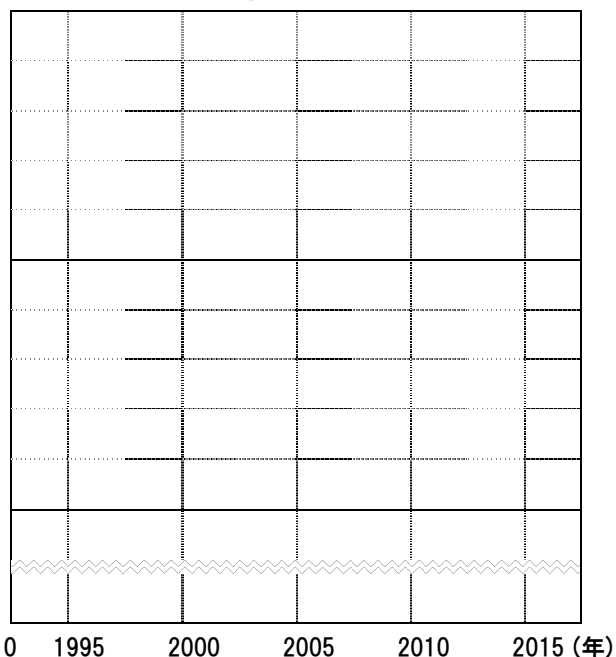
② 右の表はグラフをかくための表です。
たての1マスは何人をあらわしていますか？

③ ①の表を見て、右に棒グラフをかきましょう。

④ ①の表を見て、右に折れ線グラフをかきましょう。

⑤ 表やグラフから、市の人口がどのように変化していることがわかりますか？

市の人口



0 1995 2000 2005 2010 2015 (年)

36 がい数②

制限時間

30分

開始時間

■時■分

終了時間

■時■分

合格点

80点

一番大きい位を上から1けたのがい数、次の位までを上から2けたのがい数といいます。
「上から2けたのがい数にしましょう」という問題では、上から3けたの数字を四捨五入します。

上から1けたのがい数にしましょう。(2点×10問=20点)

例	6492	6000	①	4381	②	1178
③	73365		④	81259	⑤	52203
例	2825	3000	⑥	5681	⑦	8543
⑧	35703		⑨	69024	⑩	26542

上から2けたのがい数にしましょう。(2点×10問=20点)

例	7125	7100	①	4239	②	3915
③	87391		④	58153	⑤	91484
例	1476	1500	⑥	7162	⑦	6255
⑧	37815		⑨	54521	⑩	16978

上から3けたのがい数にしましょう。(2点×10問=20点)

例	92641	92600	①	52848	②	69827
③	70503		④	76239	⑤	53811
例	84762	84800	⑥	72395	⑦	27851
⑧	50983		⑨	76971	⑩	27963

「～以上(いじょう)」や「～以下(いか)」というばあい、その数をふくみます。

「～未満(みまん)」や「～より」というばあい、その数をふくみません。

百の位までのがい数であらわしたとき、次の数になる整数のはんいをかきましょう。(2点×5問=10点)

例	4600	4550 以上 4650 未満	①	2800
②	71300		③	94500
④	83000		⑤	17000

次の数になる整数のはんいをかきましょう。(3点×5問=15点)

例	千の位までのがい数であらわすと、92000になる数。	91500 以上 92500 未満
①	百の位までのがい数であらわすと、31800になる数。	
②	上から2けたのがい数であらわすと、86000になる数。	
③	上から3けたのがい数であらわすと、48700になる数。	
④	十の位で四捨五入したとき、27100になる数。	
⑤	百の位で四捨五入したとき、50000になる数。	

次の数になる整数で一番小さい数と一番大きい数をかきましょう。(3点×5問=15点)

例	千の位までのがい数であらわすと、15000になる数。	14500	15499
①	百の位までのがい数であらわすと、24800になる数。		
②	上から2けたのがい数であらわすと、71000になる数。		
③	上から3けたのがい数であらわすと、39400になる数。		
④	十の位で四捨五入したとき、5200になる数。		
⑤	百の位で四捨五入したとき、21000になる数。		

37 がい数③

制限時間

30分

開始時間

■時■分

終了時間

■時■分

合格点

80点

がい数のたし算やひき算は、もとの数を四捨五入してから計算します。

次の和や差を、千の位までのがい数でもとめましょう。(4点×10問=40点)

例	$36137 + 12875$ $= 36000 + 13000$ $= 49000$	①	$24367 + 11934$	②	$41716 + 45497$	③	$46797 + 14243$
④	$28371 + 34597$	⑤	$34171 + 18975$	例	$43889 - 12157$ $= 44000 - 12000$ $= 32000$	⑥	$89268 - 14846$
⑦	$97863 - 27142$	⑧	$56127 - 37983$	⑨	$41987 - 13274$	⑩	$92763 - 38268$

表を見て答えましょう。(6点5問=30点)

A レストラン					B レストラン				
曜日	人数	がい数	売上	がい数	曜日	人数	がい数	売上	がい数
月	186	190	372483	370000	月	121	120	362272	360000
火	233		468231		火	247		712889	
水	255		482229		水	159		457162	
木	124		249012		木	213		600183	
金	240		495870		金	235		597237	
土	399		872734		土	286		834492	
日	418		903492		日	298		988374	
合計					合計				

① レストランAとBに来店した人数を、十の位までのがい数であらわしましょう。

② レストランAとBの売上を、一万の位までのがい数であらわしましょう。

③ 来店した人数のがい数の合計と、売上のがい数の合計をかきましょう。

④ レストランAの1週間の来店者数はBより約何十人多いですか？

⑤ レストランBの1週間の売上はAより約何万円多いですか？

たし算の答えは切り捨てた数の和より大きく、切り上げた数の和より小さくなります。

合計を見積もるとき、100や1000などのまとまりをつくと分かりやすくなります。

1000円で買えるなら○、買えないなら×をかきましょう。(4点×5問=20点)

例	410円の本と320円の絵と330円の棒	×	①	540円の本と210円の絵と320円の棒	②	230円の本と410円の絵と440円の棒
③	380円の本と290円の絵と270円の棒		④	450円の本と270円の絵と180円の棒	⑤	160円の本と590円の絵と190円の棒

1000円のまとまりをつかって、()に合う数をかきましょう。(10点×1問=10点)

①	えんぴつ 30円	ノート 120円	絵の具 880円	のり 340円
	ふで箱 970円	下じき 210円	習字のふで 250円	マジック 660円
	コンパス 790円	電卓 750円	ものさし 420円	はさみ 580円
	1000円のまとまりが()にあるので、合計金額は()円になる。			

38 がい数④

制限時間

30分

開始時間

■時■分

終了時間

■時■分

合格点

80点

大きいかけ算は、上から1けたのがい数にして、答えを見積もってから計算するとミスが少なくなります。

切り捨てた数×切り上げた数で見積もると、かけ算の答えは見積もりに近い数になります。

切り捨てた数×切り捨てた数で見積もると、かけ算の答えは見積もりより大きくなります。

切り上げた数×切り上げた数で見積もると、かけ算の答えは見積もりより小さくなります。

次のかけ算を見積もり、電卓で答えをもとめましょう。(4点×8問=32点)

例	829×573 見積 800×600=480000 電卓 829×573=475017	①	682×916 見積 電卓	②	305×787 見積 電卓
③	521×834 見積 電卓	④	243×729 見積 電卓	⑤	416×732 見積 電卓
⑥	384×868 見積 電卓	⑦	558×789 見積 電卓	⑧	476×861 見積 電卓

およその数を見積もりましょう。(4点×2問=8点)

例	1 さつ 185 円のノート 83 さつ分の金額。 200×80=16000 (円)	①	1 本 117 円のペン 368 本分の金額。	②	1 こ 23kg の机 374 こ分の重さ。
---	--	---	----------------------------	---	---------------------------

次の計算が 240000 より大きい小さいかを考え、>か<をかきましょう。(4点×5問=20点)

例	791×274 < 240000	①	381×559 240000	②	297×763 240000
③	813×341 240000	④	408×635 240000	⑤	324×846 240000

大きいわり算は、わられる数を上から2けたのがい数に、わる数を上から1けたのがい数にして見積もります。

見積もりの計算では、あまりは計算せず、上から1けたのがい数で商をあらわします。

次のわり算を見積もり、電卓で答えをもとめましょう。(4点×8問=32点)

例	2436÷29 見積 2400÷30=80 電卓 2436÷29=84	①	2538÷47 見積 電卓	②	20532÷708 見積 電卓
③	3519÷51 見積 電卓	④	2904÷33 見積 電卓	⑤	14472÷216 見積 電卓
⑥	4160÷65 見積 電卓	⑦	3567÷87 見積 電卓	⑧	55527÷669 見積 電卓

およその数を見積もりましょう。(4点×2問=8点)

例	48 本で 2160m の糸 1 本あたりの長さ。 2200×50=40 (m)	①	185 こで 16420g の品物 1 こあたりの重さ。	②	509 こで 354773 円の品物 1 こあたりの金額。
---	--	---	---------------------------------	---	----------------------------------

35 がい数①

制限時間

30分

開始時間

■時■分

終了時間

■時■分

合格点

80点

0, 1, 2, 3, 4 を切りすて、5, 6, 7, 8, 9 を切り上げることを四捨五入(ししゃごにゆう)といいます。

四捨五入したおよその数をがい数(がいう)といいます。

十の位で四捨五入しましょう。(2点×10問=20点)

例	3125	3100	①	8739	8700	②	5815	5800
③	22548	22500	④	71327	71300	⑤	90203	90200
例	14762	14800	⑥	72395	72400	⑦	27851	27900
⑧	50983	51000	⑨	16978	17000	⑩	62952	63000

百の位で四捨五入しましょう。(2点×10問=20点)

例	5492	5000	①	2381	2000	②	9178	9000
③	73365	73000	④	81259	81000	⑤	16099	16000
例	42641	43000	⑥	37815	38000	⑦	54521	55000
⑧	29703	30000	⑨	89924	90000	⑩	69542	70000

「〇の位までのがい数にしましょう」という問題では、〇より1つ小さい位で四捨五入します。

四捨五入して、百の位までのがい数にしましょう。(2点×10問=20点)

例	7125	7100	①	4239	4200	②	3915	3900
③	52848	52800	④	69827	69800	⑤	70503	70500
例	84762	84800	⑥	91395	91400	⑦	53851	53900
⑧	20983	21000	⑨	76978	77000	⑩	92952	93000

四捨五入して、千の位までのがい数にしましょう。(2点×10問=20点)

例	6492	6000	①	4381	4000	②	1178	1000
③	29365	29000	④	76259	76000	⑤	91099	91000
例	92641	93000	⑥	57815	58000	⑦	14521	15000
⑧	39703	40000	⑨	69924	70000	⑩	29542	30000

次の問題に答えましょう。(4点×5問=20点)

下の表は、なおきさんが住んでいる市の人口を5年ごとに調べたものです。

①	四捨五入して、千の位までのがい数にしましょう。				
	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年
	94238	92681	89724	88475	86819
	94000	93000	90000	88000	87000

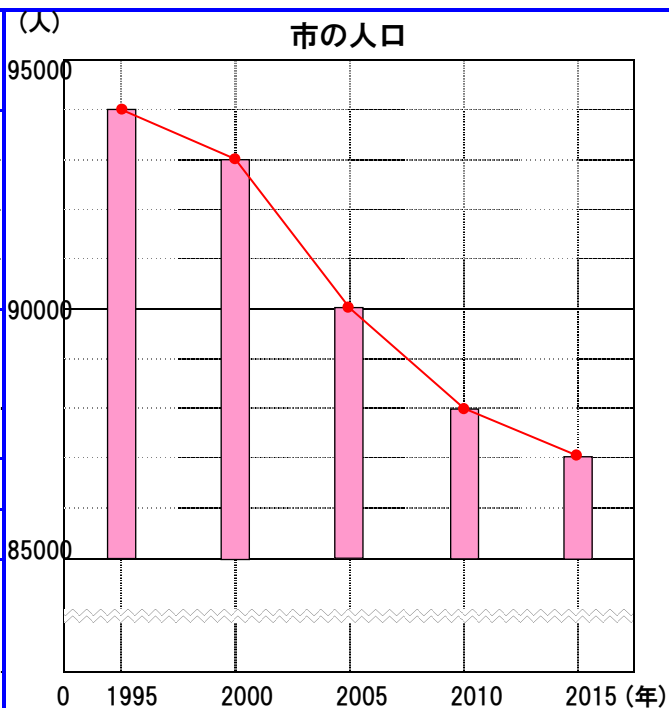
② 右の表はグラフをかくための表です。
たての1マスは何人をあらわしていますか?
1000人

③ ①の表を見て、右に棒グラフをかきましょう。

④ ①の表を見て、右に折れ線グラフをかきましょう。

⑤ 表やグラフから、市の人口がどのように変化していることがわかりますか?

だんだんへっている。



36 がい数②

制限時間

30分

開始時間

■時■分

終了時間

■時■分

合格点

80点

一番大きい位を上から1けたのがい数、次の位までを上から2けたのがい数といいます。

「上から2けたのがい数にしましょう」という問題では、上から3けたの数字を四捨五入します。

上から1けたのがい数にしましょう。(2点×10問=20点)

例	6492	6000	①	4381	4000	②	1178	1000
③	73365	70000	④	81259	80000	⑤	52203	50000
例	2825	3000	⑥	5681	6000	⑦	8543	9000
⑧	35703	40000	⑨	69024	70000	⑩	26542	30000

上から2けたのがい数にしましょう。(2点×10問=20点)

例	7125	7100	①	4239	4200	②	3915	3900
③	87391	87000	④	58153	58000	⑤	91484	91000
例	1476	1500	⑥	7162	7200	⑦	6255	6300
⑧	37815	38000	⑨	54521	55000	⑩	16978	17000

上から3けたのがい数にしましょう。(2点×10問=20点)

例	92641	92600	①	52848	52800	②	69827	69800
③	70503	70500	④	76239	76200	⑤	53811	53800
例	84762	84800	⑥	72395	72400	⑦	27851	27900
⑧	50983	51000	⑨	76971	77000	⑩	27963	28000

「～以上(いじょう)」や「～以下(いか)」というばあい、その数をふくみます。

「～未満(みまん)」や「～より」というばあい、その数をふくみません。

百の位までのがい数であらわしたとき、次の数になる整数のはんいをかきましょう。(2点×5問=10点)

例	4600	4550 以上 4650 未満	①	2800	2750 以上 2850 未満
②	71300	71250 以上 71350 未満	③	94500	94450 以上 94550 未満
④	83000	82950 以上 83050 未満	⑤	17000	16950 以上 17050 未満

次の数になる整数のはんいをかきましょう。(3点×5問=15点)

例	千の位までのがい数であらわすと、92000になる数。	91500 以上 92500 未満
①	百の位までのがい数であらわすと、31800になる数。	31750 以上 31850 未満
②	上から2けたのがい数であらわすと、86000になる数。	85500 以上 86500 未満
③	上から3けたのがい数であらわすと、48700になる数。	48650 以上 48750 未満
④	十の位で四捨五入したとき、27100になる数。	27050 以上 27150 未満
⑤	百の位で四捨五入したとき、50000になる数。	49500 以上 50500 未満

次の数になる整数で一番小さい数と一番大きい数をかきましょう。(3点×5問=15点)

例	千の位までのがい数であらわすと、15000になる数。	14500	15499
①	百の位までのがい数であらわすと、24800になる数。	24750	24849
②	上から2けたのがい数であらわすと、71000になる数。	70500	71499
③	上から3けたのがい数であらわすと、39400になる数。	39350	39449
④	十の位で四捨五入したとき、5200になる数。	5150	5249
⑤	百の位で四捨五入したとき、21000になる数。	20500	21499

37 がい数③

制限時間

30分

開始時間

■時■分

終了時間

■時■分

合格点

80点

がい数のたし算やひき算は、もとの数を四捨五入してから計算します。

次の和や差を、千の位までのがい数でもとめましょう。(4点×10問=40点)

例	$36137 + 12875$ $= 36000 + 13000$ $= 49000$	①	$24367 + 11934$ $= 24000 + 12000$ $= 36000$	②	$41716 + 45497$ $= 42000 + 45000$ $= 87000$	③	$46797 + 14243$ $= 47000 + 14000$ $= 61000$
④	$28371 + 34597$ $= 28000 + 35000$ $= 63000$	⑤	$34171 + 18975$ $= 34000 + 19000$ $= 53000$	例	$43889 - 12157$ $= 44000 - 12000$ $= 32000$	⑥	$89268 - 14846$ $= 89000 - 15000$ $= 74000$
⑦	$97863 - 27142$ $= 98000 - 27000$ $= 71000$	⑧	$56127 - 37983$ $= 56000 - 38000$ $= 18000$	⑨	$41987 - 13274$ $= 42000 - 13000$ $= 29000$	⑩	$92763 - 38268$ $= 93000 - 38000$ $= 55000$

表を見て答えましょう。(6点5問=30点)

A レストラン					B レストラン				
曜日	人数	がい数	売上	がい数	曜日	人数	がい数	売上	がい数
月	186	190	372483	370000	月	121	120	362272	360000
火	233	230	468231	470000	火	247	250	712889	710000
水	255	260	482229	480000	水	159	160	457162	460000
木	124	120	249012	250000	木	213	210	600183	600000
金	240	240	495870	500000	金	235	240	597237	600000
土	399	400	872734	870000	土	286	290	834492	830000
日	418	420	903492	900000	日	298	300	988374	990000
合計		1860		3840000	合計		1570		4550000

- ① レストランAとBに来店した人数を、十の位までのがい数であらわしましょう。
- ② レストランAとBの売上を、一万の位までのがい数であらわしましょう。
- ③ 来店した人数のがい数の合計と、売上のがい数の合計をかきましょう。
- ④ レストランAの1週間の来店者数はBより約何十人多いですか？ **290人 (1860-1570)**
- ⑤ レストランBの1週間の売上はAより約何万円多いですか？ **71万円 (455万-384万)**

たし算の答えは切り捨てた数の和より大きく、切り上げた数の和より小さくなります。

合計を見積もるとき、100や1000などのまとまりをつくと分かりやすくなります。

1000円で買えるなら○、買えないなら×をかきましょう。(4点×5問=20点)

例	410円の本と320円の絵と330円の棒 ×	①	540円の本と210円の絵と320円の棒 ×	②	230円の本と410円の絵と440円の棒 ×
③	380円の本と290円の絵と270円の棒 ○	④	450円の本と270円の絵と180円の棒 ○	⑤	160円の本と590円の絵と190円の棒 ○

1000円のまとまりをつかって、()に合う数をかきましょう。(10点×1問=10点)

①	えんぴつ 30円	ノート 120円	絵の具 880円	のり 340円
	ふで箱 970円	下じき 210円	習字のふで 250円	マジック 660円
	コンパス 790円	電卓 750円	ものさし 420円	はさみ 580円
1000円のまとまりが(6)こあるので、合計金額は(6000)円になる。				

38 がい数④

制限時間

30分

開始時間

■時■分

終了時間

■時■分

合格点

80点

大きいかけ算は、上から1けたのがい数にして、答えを見積もってから計算するとミスが少なくなります。

切り捨てた数×切り上げた数で見積もると、かけ算の答えは見積もりに近い数になります。

切り捨てた数×切り捨てた数で見積もると、かけ算の答えは見積もりより大きくなります。

切り上げた数×切り上げた数で見積もると、かけ算の答えは見積もりより小さくなります。

次のかけ算を見積もり、電卓で答えをもとめましょう。(4点×8問=32点)

例	829×573 見積 800×600=480000 電卓 829×573=475017	①	682×916 見積 700×900=630000 電卓 692×916=633872	②	305×787 見積 300×800=240000 電卓 305×787=240035
③	521×834 見積 500×800=400000 電卓 521×834=434514	④	243×729 見積 200×700=140000 電卓 243×729=177147	⑤	416×732 見積 400×700=280000 電卓 416×732=304512
⑥	384×868 見積 400×900=360000 電卓 384×868=333312	⑦	558×789 見積 600×800=480000 電卓 558×789=440262	⑧	476×861 見積 500×900=450000 電卓 476×861=409836

およその数を見積もりましょう。(4点×2問=8点)

例	1 さつ 185 円のノート 83 さつ分の金額。 200×80=16000 (円)	①	1 本 117 円のペン 368 本分の金額。 100×400=40000 (円)	②	1 こ 23kg の机 374 こ分の重さ。 20×400=8000 (kg)
---	--	---	---	---	---

次の計算が240000より大きい小さいかを考え、>か<をかきましょう。(4点×5問=20点)

例	791×274 < 240000	①	381×559 < 240000	②	297×763 < 240000
③	813×341 > 240000	④	408×635 > 240000	⑤	324×846 > 240000

大きいわり算は、わられる数を上から2けたのがい数に、わる数を上から1けたのがい数にして見積もります。

見積もりの計算では、あまりは計算せず、上から1けたのがい数で商をあらわします。

次のわり算を見積もり、電卓で答えをもとめましょう。(4点×8問=32点)

例	2436÷29 見積 2400÷30=80 電卓 2436÷29=84	①	2538÷47 見積 2500÷50=50 電卓 2538÷47=54	②	20532÷708 見積 21000÷700=30 電卓 20532÷708=29
③	3519÷51 見積 3500÷50=70 電卓 3519÷51=69	④	2904÷33 見積 2900÷30=90 電卓 2904÷33=88	⑤	14472÷216 見積 14000÷200=70 電卓 14472÷216=67
⑥	4160÷65 見積 4200÷70=60 電卓 4160÷65=64	⑦	3567÷87 見積 3600÷90=40 電卓 3567÷87=41	⑧	55527÷669 見積 56000÷700=80 電卓 55527÷669=83

およその数を見積もりましょう。(4点×2問=8点)

例	48 本で 2160m の糸 1 本あたりの長さ。 2200×50=40 (m)	①	185 こで 16420g の品物 1 こあたりの重さ。 16000÷200=80 (g)	②	509 こで 354773 円の品物 1 こあたりの金額。 350000÷500=700 (kg)
---	--	---	---	---	---